

第73回 “社会を明るくする運動”

福井市推進大会



■日時 令和5年7月29日(土) 会場受付 12:30 ~

■場所 フェニックス・プラザ2階「小ホール」

主 唱 / 法 務 省

主 催 / 社会を明るくする運動 福井市推進委員会
委員長(福井市長) 東村 新一

福井地区保護司会(主管)・福井市自治会連合会・福井地区協力雇用主会
福井市更生保護女性連盟・福井地区BBS会

共 催 / 福井保護観察所・青少年育成福井市民会議
福井市連合婦人会・福井市子ども会育成連合会
福井市補導員連絡協議会

後 援 / 福井市教育委員会・福井新聞社・FBC福井放送・福井テレビ
FM福井・福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ

第73回 “社会を明るくする運動”



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

これまでたくさんの方々の御尽力を賜り、ありがとうございます。おかげさまで今年で73年目を迎えました。

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、社会における様々な“生きづらさ”が存在していることが少なくありません。その“生きづらさ”に寄り添い、人と人との互いに支え合うコミュニティを築くことこそが、安全で安心な明るい社会の実現につながっていきます。

本運動を通じて、保護司をはじめとする民間協力者、そして、地域の多くの方々に御理解と御協力をいただきながら、“生きづらさ”を抱える人、再出発を図ろうとする人を受け入れることのできる、包摂的な社会の実現を目指し、犯罪や非行の防止と立ち直り支援に取り組んでまいります。

本年、第二次再犯防止推進計画が策定されました。新たな計画に基づき、国や地方公共団体が一体となって、再犯防止に向けた取組をより一層力強く推進していくことが重要です。

国民の皆様には、“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない明るい地域社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福の黄色い羽根」のもと、本運動に御参加いただきますよう御協力をお願いいたします。

内閣総理大臣

岸田文雄

第73回 “社会を明るくする運動”

福井市推進大会 次第

と き 令和5年7月29日(土) 13:30～

ところ フェニックス・プラザ2階「小ホール」

第1部

1. 開会の言葉
福井地区保護司会会長 山下 幸雄
2. 大会委員長あいさつ
“社会を明るくする運動”福井市推進委員会
委員長・福井市長 東村 新一
3. 退任保護司への感謝状贈呈
4. 来賓祝辞
福井保護観察所長 岡野 みづほ
福井市議会議長 八田 一以
5. 登壇者紹介
6. 内閣総理大臣メッセージの伝達
福井保護観察所長から福井市議会議長へ

7. 大会宣言
福井市更生保護女性連盟会長 正治 美恵子

第2部

8. 特別コンサート



タイトル

やさしさを分かち合うために

シンガーソングライター ヒナ タカコ

9. 閉会の言葉
福井市自治会連合会会長 奥村 清治

再出発しようとする人たちの現状を見てみると・・・

仕事がない

再犯時に約7割※は無職

無職者 69.6%

有職者 30.2%

居場所がない

再犯時に約2割※は住所不定

住居不定
18.6%

定住 79.4%

※刑務所等入所者に関するデータ

犯罪や非行からの

再出発を支える地域の5つの仕組み

2 帰る場所がある

更生保護施設

刑務所等を出た後、帰る場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた生活指導を行う民間の施設です。

1 相談できる人がいる

保護司

犯罪や非行により「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのったり、指導をしたりしています。犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいます。

3 働く場所がある

協力雇用主

犯罪・非行歴のため仕事に就くことが難しい人たちを、その事情を理解した上で雇用し、立ち直りを支援する事業者です。

5 優しく見守る人がいる

更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための活動、子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

4 先輩・友人がいる

BBS会

様々な問題を抱える少年に、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年の成長を助ける青年ボランティア団体です。

“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人の改善更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

毎年7月は、“社会を明るくする運動”の強調月間及び再犯防止啓発月間です。



お問い合わせは
お近くの保護観察所まで



法務省保護局
公式ツイッター

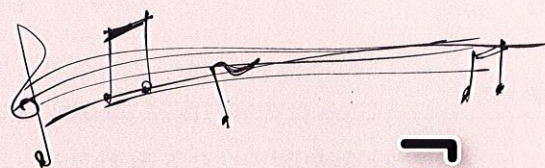


法務省YouTube
チャンネル



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

社明運動特別記念コンサート



「やさしさを

分かち合うために」



シンガーソングライター

ヒナタカコ氏

プロフィール

幼い頃よりピアノや音楽に慣れ親しみ、高校生のころから独学で作詞作曲を始める。

三国高校在学中、東京国際フォーラムで開催された YAMAHA のコンテストに出場し、全国 2 位になる。

高校卒業後は、大阪音楽大学ピアノ専攻を卒業。

母校三国高校での教育実習で、自己紹介として弾き語りをしたところ、生徒との壁が打ち解けた経験から、ミュージシャンになることを決意。大学卒業後上京。

2008 年 1ST ミニアルバム『潤 - jUN - 』で、全国デビュー。

2012 年リリース「いずこの空」で、オリコンパワープレイランキング邦楽 1 位獲得。

ライブ活動のほか、寺院コンサートや学校交流、合唱団との共演、ラジオ番組で弾き語りコーナーを務めるなど様々な活動を重ねる。

2015 年、東京から福井に U ターン。

地元福井では「福井県立坂井高等学校校歌」「坂井市テーマソング しあわせの花」などの制作をはじめ、環境保護や動物愛護、被害者支援などの活動に賛同し、歌を通して様々な社会的メッセージを発信している。

僧籍を持ち、各地お寺や築地本願寺の法要などにもライブ出演。

命や自然をテーマとした楽曲、力強くあたたかい歌声が幅広い世代から支持を受けている。

テレビ CM など楽曲提供も多数手がけ、現在 FBC ラジオでのレギュラー番組「ヒナタカコ音楽室で、ひなたぼっこ」(毎週日曜 11:00 ~ 放送) がオンエア中。

CD やライブ情報などは
ヒナタカコ公式サイトにて。
近況や活動の様子は SNS にて更新しています。
YouTube ではミュージックビデオや
ライブ動画も配信中!
カタカナ「ヒナタカコ」で
検索ください。

大会宣言(案)

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

昭和26年に始まって以来、この運動は今回で73回目を迎えましたが、どんなに社会が発展しても、一人ではどうにもならない“生きづらさ”は誰にでもあり、特に犯罪や非行の背景には、望まない孤立や社会的孤立など、社会における様々な“生きづらさ”の存在が少なからずあります。

犯罪や非行に至った人たちにとって、自らの罪としっかり向き合って立ち直ろうとするとき、それらの“生きづらさ”に思いを馳せ、そばに寄り添い、人と人が互いに支え合うコミュニティが地域に築かれていれば、どれほど心強いことでしょう。

誰もが安全で安心できる社会は、すべての人の願いであり、犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れられることが自然にできる「誰一人取り残さない」コミュニティづくりは、私たちみんなの責務です。

この熱い思いを「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」として、より一層多くの市民の方々に広げようではありませんか。

第73回“社会を明るくする運動”福井市推進大会が開催されるに当たり、私たちは、すべての人がともに暮らせる安全で安心な地域社会を実現するため、なお一層努力することを誓います。

令和5年7月29日

第73回“社会を明るくする運動”
福井市推進大会

“犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ”

第73回“社会を明るくする運動”について



行動目標

- ・犯罪や非行を防止し、安全で、安心して暮らすことができる明るい地域社会を築くこと
- ・犯罪や非行をした人が再び犯罪や非行をしないように、その立ち直りを支えること

重点事項

犯罪や非行をした人を、再び地域社会に受け入れ、望まない孤独や社会的孤立などの生きづらさという問題に我が事として関わるコミュニティの実現に向け、次のことに力を入れ取り組む。

- 犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、再犯を防止することの大切さや、更生保護の活動について、デジタルツールも活用するなどして、広く周知し、理解を深めてもらうための取組
- 犯罪や非行の防止や、犯罪や非行をした人の立ち直りには様々な協力の方法があることを示し、多くの人に協力者として気軽に参加してもらうための取組
- 保護司、更生保護女性会会員、BBS会員、協力雇用主等の更生保護ボランティアの活動を支援し、なり手を増やすための取組
- 民間協力者と地方公共団体と国との連携を強化しつつ、犯行や非行をした人が、仕事、住居、教育、保健医療、福祉サービスなどに関し必要な支援を受けやすくするためのネットワークをつくる取組
- 犯罪や非行が起こらないよう、若い人たちの健やかな成長を期する取組

私たちが伝えたいこと

罪を犯した人も、非行のある少年も、いずれは地域社会の一員として、より良い社会の実現を担うことになります。安全・安心な社会を築くには、立ち直ろうとする人たちの意欲を認め、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくあたたかい心が必要です。

地域住民が連帯を強め、地域における犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人たちの立ち直りを助けることへの理解と参加を、できるだけ多くの人に呼びかけてまいります。

できることから始めましょう！

犯罪からの立ち直りには、本人の努力はもちろんですが、周りの人の応援や地域の中に「居場所」があることが大きな後押しになります。立ち直ろうとする人を受け入れ、支える方法は様々です。何ができるかを一緒に考え、できることから始めてみましょう。



刑務所出所者等に対する相談窓口の開設！

社会の一員として立ち直ろうとしているにもかかわらず、“**生きづらさ**”を抱える刑務所出所者等を支援するため、**本年4月13日、「地域拠点ネットワーク福井」**が構築されました。

ネットワークに参加する更生保護関係団体と関係機関・団体等がご相談に応じます。詳しいことは、「更生保護サポートセンター福井」へお尋ねください。

「更生保護サポートセンター福井」

福井市大手3丁目12-20

TEL 30-1011 FAX 30-1044

メール:koseihogossf@oboe.ocn.ne.jp

